

岡口基一判事から民事裁判実務を学ぶ会のお知らせ

拝啓 時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

シンギュラリティ時代の幕開けにおいて、司法の分野でも、民事裁判手続のIT化が推進され、AIを利用した契約書レビューなどの「リーガルテック」の波が押し寄せるなど、大きな変革期を迎えています。その変革期においても、「弁護士にしかできない」(AIに代替されない)業務の一つとして、民事裁判は、依然として弁護士の活躍が期待される分野です。

岡口基一判事は、東京高等裁判所判事として日々活躍する傍ら、要件事実に関する旺盛な執筆活動で知られ、近著『裁判官！ 当職そこが知りたかったのです。』(2017年、学陽書房、共著)では、民事裁判実務に関する極めて貴重な「現役裁判官の生の声」を披瀝され、法曹会に大きな影響を与え続けています。

そこで、現役判事から民事裁判実務に関する生の声を伺い、また、日本の司法に対する忌憚ない意見交換をする機会として、岡口判事から民事裁判実務を学ぶ会を企画いたしました。

現役判事と直接意見交換ができる、またとない貴重な機会です。ご多用の折とは存じますが、万障繰り合わせの上、是非ご臨席賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

- 日時： 平成31年3月14日(木) 午後5:45 受付開始
- 構成： 第1部 パネルディスカッション&質疑応答 午後6:30-7:45
第2部 懇親会 午後8:00-10:00
- 場所： ビジョンセンター永田町 8F
千代田区永田町1-11-28 合人社東京永田町ビル8F
*永田町駅 3番出口 すぐ目の前(1F ローソンが目印)
- 参加費用： (1) 8,000円(第1部&第2部の両方)
(2) 2,000円(第1部パネルディスカッション&質疑応答のみ)
(3) 6,000円(第2部懇親会のみ)
- 当日現金払い



申込方法： <https://goo.gl/nuvxDF>
3月8日(金)までにお申込みください。

主催：日本IPBAの会

後援：一般社団法人グローバルチャレンジ